

三間高校×次世代農業グループ コネクト

育てて売ること

県立三間高校では、農業や農業機械に関する学習ができる四国唯一の農業機械科があります。授業の中で、米や野菜の栽培実習だけではなく、農業機械の整備方法などを学んでいます。

12月7日(土)にはJR宇和島駅前で、同校農業機械科の1年生12人と地元の農業グループ コネクトが共同で「三間高マルシェ」を開催しました。農業機械科では栽培方法だけではなく、農業機械の扱いも学べることをたくさんの人に知ってもらうため。また、その生徒たちにも野菜を育てるだけではなく販売する楽しさも知ってほしいとの先輩

農家たちの思いが加わり開催に至りました。

マルシェの開催に向けて、生徒たちは昨年9月から地元農家らと協力してブロッコリーの苗の植え付けや栽培管理、収穫を行い、当日は自らが収穫した野菜などを販売しました。

店頭では、先輩農家のお客さんとの接し方や野菜を手にとったときのお客さんの反応など、普段の授業では味わえない貴重な経験となりました。また、生徒たちは野菜が売れると思わず笑みがこぼれるなど、販売の楽しさを味わいました。



有料広告